

かみかすや あきやま  
上粕屋・秋山遺跡8区

伊勢原市 No.74・205 遺跡



1. 縄文時代後期 配石遺構群



2. 縄文時代後期 配石遺構



3. 縄文時代後期 敷石住居と石列



4. 縄文時代後期 石刀

● 主な調査成果

今年度の調査では、縄文時代後期に造られた「配石遺構」が、当時の姿のままで発見されました。これらは約 3500～4000 年前の墓域を示す遺構と考えられ、複数のグループに分けられます。なかでも大規模なグループは約 10m 四方に広がり、大小 40 個以上の立石が並んでいます。真上から見ると立石同士は直線上に並ぶように配置され、根元に置かれた石で連結されており、一部は長方形の配置になっています。配石遺構群は当時の住居から約 5m しか離れていませんが、その間には 20～30 cm の標高差があります。これは当時の人々が墓域を造る前に、その範囲を削平したためと考えられます。配石遺構からは、東北地方との関係を示唆する「石刀」が発見されました。

- 調査期間 2022年6月1日～ 調査中
- 事業者 国土交通省関東地方整備局
- 調査原因 一般国道246号線（厚木秦野道路）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、縄文、旧石器
- 所在地 伊勢原市上粕屋
- 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅から北西に約3kmの秋山台地上

